

静岡音楽館倶楽部情報誌

September 2006
No.43

AOI 通信

C O N C E R T H A L L S H I Z U O K A



INDEX

アリオン・バロック・オーケストラ
インタビュー スージー・ルブラン(ソプラノ)

この一曲《スターバト・マーテル(悲しみの聖母)》

AOI「初めてのクリスマス★コンサート」

AOI INFORMATION

④ 音楽都市紀行
「パイロイト」

音という花に、染められていく。



C O N C E R T H A L L S H I Z U O K A

ここに響く

静岡音楽館 **AOI**

〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9 TEL (054) 251-2200
E-mail : info@aoi.shizuoka-city.or.jp URL : http://www.aoi.shizuoka-city.or.jp

2003年10月、
AOIで行われたコンサート「ヴェルサイユの舞踏会」で、
チャームिंगな美しい歌声を聴かせてくれた
スージー・ルブランが、この秋、AOIのステージに帰ってきます。
「ソプラノの名花」とよばれる彼女にインタビューしました。



interview
スージー・ルブラン(ソプラノ)にきく

Suzie
LeBRANC

音と言葉、
ふたつをよく考慮して取り扱ったときに、
マジックが
起こり得るのです。

Q 子どもの頃、音楽とはどのように
接していたのですか？

音楽との最初の出会いは母の歌でした。姉が
ピアノを弾いているときには、いつもピアノの下
に寝転んで聴いていましたね。それから、お鍋やフ
ライパンを持ち出して打楽器のようにして遊ぶこ
とも好きでした。きちんとした形で音楽に出会った
のは、少女コーラスです。歌だけでなくリコーダー
やフルートも演奏しました。



Q 大学時代はチェンバロを専攻されていたそうですが、どうしてソプラノ歌手への道を選んだのですか？

少女コーラスの時から歌うことに興味を持っていましたが、チェンバロ奏者として歌手の方たちと一緒するようになり、ますます歌への興味は深くなりました。Musica Secreta*への参加を機にチェンバロを離れ、歌うことに専念するようになりました。*17世紀の声楽曲を演奏している声楽トリオ

Q 歌の中でいちばん難しいとされているソプラノの魅力は？

どの声域のパートも素敵だと思っていますし、音域や声質に関わらずその歌手の素晴らしい手腕には、本当に魅了されますね。確かにソプラノ歌手はバロック作品の中では花形です。当時から高音域できらめく声が好まれていたのでしょうね。



2003/10/29「ヴェルサイユの舞踏会」(静岡音楽館AOI)

Q 美声を保つために気をつけていることはありますか？

それはとてもシンプルで、健康全般に言えることだと思います。十分な睡眠と適度な運動、質のよい水、おいしい食べ物、それからちょっとだけユーモアが必要です。そして歌の練習はもちろん、歌うことを楽しむことも大切です。

Q 歌における音と言葉の関係をどのように捉えているのでしょうか？

歌うとき、自分の表現をもって歌詞を伝えることは非常に大事だと思います。モンテヴェルディ、カッチーニらの仲間たち、パーセル、ロッシ、リュリ、ランベールなど17世紀の偉大な作曲家は、修辭法とデクレーション*をととてもよく心得ていました。バロック・オペラで、音楽とダンスが手と手を取りあって作用しあうのと同じように、音楽は言葉と出会うことで強く結びつき、歌詞をより高める役割をするのです。器楽的な手法で書かれた音楽でも、歌詞と音楽が別物になることはありません。時に歌詞はどのように表現するかに、とても大きなヒントを与えてくれます。音と言葉、ふたつをよく考慮して取り扱ったときに、マジックが起こり得るのです。*言葉の強勢と旋律のアクセントとの関係



Q 今までに何か舞台上でハプニングはありましたか？

出来たてのホールや初めて訪れるホールでの公演のときは、予期しないことが起こります。オペラ《ポッペアの戴冠》のとき、私がお風呂から出てくるシーンで(ドライアイスを使った演出)、乳母役が私にバスタオルを渡すのを忘れたことがありました。私は彼女がタオルを早く渡してくれるよう祈りながら、ゆっくりゆっくりバスルームから出るように演じましたが、彼女が気づくまでにはずいぶん時間がかかり、その10秒間は私が経験した中で最も長く感じました。



Q ダニエル・テラーさんと多く共演されていますが、どんな方ですか？

とても気さくな人ですよ。稀にみる美しい声を持つ歌手のひとりで、彼の歌はとっても素晴らしいです。私たちは何年も一緒に演っていますが、ダニエルと私はいつも互いに感化され合い、2人の声と一緒にになると、まさに完全なものになるのではないかと感じています。

Q アリオン・バロック・オーケストラとも多くお仕事をされていますが、

アリオン・バロック・オーケストラは、とても素晴らしいオーケストラです。彼らとは、大小の編成でたびたび共演してきました。メンバーの何人かは、私がまだチェンバロを弾いていた大学時代の古楽の先生で、実際とても長いお付き合いなんです！
また、今回の音楽監督であり指揮者、ヤープ・テル・リンデンと一緒に仕事をできることをとても光栄に思っています。彼の並外れた音楽性^{音楽性}とあたたかい人柄は、私にとっていつも感性の源です。

Q 古楽はまだ静岡であまり知られていません。

AOIに聴きに來られるお客様に何かアドバイスはありますか？

お客様に何かアドバイスというのは難しいですね……。美しい音楽は私を魅了し、嫌なことや日常を忘れさせてくれます。そんな音楽に、非常に大きな情熱をもっています。

音楽を聴くのに、難しいマナーがあるわけではありません。子どもたちが何か新しい体験をする時のように考えてみてください。眼を閉じてあなた自身の心で聴いてください。

Q 以前AOIで演奏されたときの、ホールの印象はいかがでしたか？

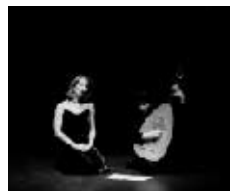
よく覚えていますよ。ホールの響きはとてもよかったですし、お客様の鑑賞力も高く、とてもよい思い出として覚えています。

Q 静岡は山と海に囲まれ、おいしい食べ物がたくさんありますが、何が食べたいですか？

以前來日したときに食べた日本のお料理は、とてもおいしかったです。今回もどんな食べ物に出会えるのか楽しみにしています。お魚、しょうが、お野菜、それからシソがとっても好きです！

Q 静岡でも声楽家を目指している学生が多いですが、アドバイスをいただけますか？

若い音楽家の演奏を聴くのは楽しいことです。いつかマスタークラスを行えたら、と思っています。彼らには、今回のコンサートにぜひ来てほしいです。コンサートの後尋ねてくだされば、ダニエルと私は喜んでお答えしますよ。



編集：静岡音楽館AOI 千葉真友子
取材協力：アレグロミュージック

スージー・ルブラン (ソプラノ)
Suzie LeBRANC (Sop.)



カナダ生まれ。大学でチェンバロを学び17、18世紀の音楽に関心を抱く。カナダ・カウンシル奨学生としてイギリスに留学し、ウィグモアホールで衝撃的デビューを果たす。以来、A.バロット、T.コープマンなど著名な指揮者と共演し、バロックとクラシックのレパートリーを中心にコンサート、オペラ、研究に活動を繰り広げている。リ्यूト・ソング、オラトリオ、オペラ作品（モンテヴェルディ、パーセル、ヘンデル）を得意とする。レコーディングは中世の音楽から現代音楽まで多岐にわたっている。

CONCERT INFORMATION



オーケストラを聴こう
アリオン・バロック・オーケストラ
愛の歌

11/7 火

19:00 開演 (18:30 開場)
全指定 5,000円
(会員 ¥4,500、大学生以下 ¥1,000)



スージー・ルブラン(ソプラノ)
ダニエル・テラー(カウンターテナー)
ヤーブ・テル・リンデン(指揮、バロック・チェロ)
アリオン・バロック・オーケストラ

G.B. ペルゴレージ
スターバト・マーテル
G.F. ヘンデル
歌劇《セルセ》より〈オンブラ・マイ・フ〉
歌劇《リナルド》より〈嘆くままにしてください〉
歌劇《ロデリンダ》より 序曲、〈陰よ、木々よ〉

この曲

G.B. ペルゴレージ

スターバト・マーテル(悲しみの聖母)



高橋アキ

(ピアニスト、静岡音楽館AOI企画会議委員)

「君よ知るや、南の国」と古くから歌われているように、イタリアは明るい太陽の下、国中が美術品のように美しく、料理もワインもおいしくて、いつ行っても心が浮き立つ。

18世紀イタリアの作曲家、ペルゴレージの名前を私が知ったのは、ストラヴィンスキー作曲の《プルチネルラ》を初めて聴いた時だった。ディアギレフの勧めによって、ストラヴィンスキーはペルゴレージの音楽を素材にしてこのバレエ曲を作曲したという。道化役者プルチネルラを中心にしたコンメディア・デラルテ(即興の仮面劇)のスタイル。いかにもイタリアふうの明るい透明な響きに、さらにストラヴィンスキーらしい機知に富んだ工夫が施されていて、聴いていると心が浮き立つ。

このペルゴレージという作曲家は1710年に生まれ、1736年にわずか26才という短い生涯を閉じた。かれは子供の頃からずっと病弱だったという。それでも有名な《奥様女中》をはじめとするいくつかのオペラ、器楽曲、室内カンタータ、そして宗教音楽などを後世に残した。1736年、健康状態がさらに悪化し、自身の死を予感したペルゴレージはフランシスコ修道院に移り住み、そこでこの《スターバト・マーテル》を作曲し、3月16日に亡くなったという。

十字架の下にたたずむ聖母マリアの悲しみ、嘆きを想う《スターバト・マーテル》

は、ほかの多くの作曲家によっても作曲されている。古くはジョスカン・デ・プレ、ペルゴレージと同時代同じイタリアのスカルラッティやヴィヴァルディ、わが子を失った悲しみを曲に託したドヴォルザーク、そしてプーランクなどなど。

そして聴く者の心を打つのは、愛するわが子を失った

聖母の悲嘆、愛する者を失った苦痛に対して心を

共振させ、共に祈ることができる普遍性を持った

音楽だからではないだろうか。

迫り来る死を目前にしたペルゴレージが書いたこの作品は、深い感情と厳しさを持ちながらも、それらを突き抜けた透みきつ

た明るさによって救われる、凜とした

美しい音楽である。





野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)

AOI初めての クリスマス★コンサート

豪華メンバーが勢揃い、最高のクリスマス・イヴをプレゼント!

音楽館では、今年はじめてクリスマス・コンサートを企画しました。正真正銘楽しいコンサートになること請け合いです。コンサートには行ってみたいのだけれど、音楽館のコンサートはどうも敷居が高くて、と思い込んで二の足を踏んでいる方々にも是非来ていただきたいコンサートです。

また、勿論音楽館に普段通っていただいている方々にも、いつもとはひと味違った楽しみかたが出来るコンサートになるはずです。

出演するのは豪華メンバーで、いつもこの音楽館の公演を私と一緒に企画している、日本を代表する音楽家である企画会議委員の方々、また、AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー、そして当館が主催する「静岡の名手たち」のオーディションに合格した歴代の若きヴィルトゥオーゾたちがアンサンブルを組んで出演します。司会進行をつとめるのは、もう静岡ではおなじみのアナウンサー、NHK静岡放送局の久保田祐佳さんです。きっと皆さんを、音楽の喜びに誘ってくれるでしょう。

さて、一体何が演奏されるのでしょうか。普段音楽館ではめったに聴けない、親しみやすい美しい小品の数々が並んでいます。その一部をご紹介しますと、高橋アキさんが



AOI・レジデンス・クワルテット

「ハイパー・ビートルズ(ビートルズの有名なナンバーを作曲家が編曲したもの)」から二曲、小林美恵さんが、あの美しいメキシコの子守唄《エストレリータ(星)》、川本嘉子さんが、その昔はジョン・コルトレーンのジャズナンバー、若い人にはテレビのJRの京都の広告で有名な、《サウンド・オブ・ミュージック》の中の〈マイ・フェヴァリット・シングス〉、私もベートーヴェンの《月光》ソナタや、マザーグースの物語にラヴェルが作曲した〈マ・メール・ロワ〉を、高橋アキさんとの連弾で参加します。これ以外にも、池田直樹さん、福田進一さん、と千両役者がずらり。

またクリスマスならではの、パイプオルガンでのバッハのコラール、そして歴代の「静岡の名手たち」で構成されたアンサンブルで、楽しいサン＝サーンスの《動物の謝肉祭》、そして最後はクリスマス・ソングのメドレーで締めくくります。是非皆さんも、クリスマス・ソングをいくつか一緒に歌って下さい。

楽しいコンサートです。親子でも楽しめます。ぜひあなたの素敵なクリスマス・イヴを、音楽館の素晴らしい音響の中で過ごしてみたいはいかがでしょうか。



「司会進行をつとめさせていただきます、久保田祐佳です。楽しい曲がいっぱいのコンサートです。一緒に素敵なクリスマスイブを過ごしましょう!」
NHK静岡放送局
アナウンサー久保田祐佳

CONCERT INFORMATION

親子のためのコンサート クリスマス★コンサート

12/24(日) 15:00 開演(14:30 開場)
全自由¥2,000
(会員¥1,800、大学生以下¥1,000)
親子券¥2,500 好評発売中!

静岡音楽館AOI-2006-07

CONCERT HALL SHIZUOKA コンサートシリーズ ― 芸術監督:野平一郎

2006.9 ― 2007.3

大学生以下
(28歳以下)
¥1,000



カブノン兄弟



イアン・ポストリッジ



アンサンブル・ウィーン・コラージュ



トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ

2007



山田晃子



レ・ヴァン・フランセ



堀米ゆず子&
児玉桃

9/30 土 第11回「静岡の名手たち」
オーディション合格者によるコンサート

兄弟のみずみずしい感性
10/27 金 ルノー&ゴートイエ・カブソン
ヴァイオリン&チェロ・デュオ・コンサート

二つの愛を歌う、バロック・オペラ二重唱
11/7 火 アリオン・バロック・オーケストラ 愛の歌

最強の弦楽四重奏団。静岡から音楽は始まる
11/12 日 AOI・レジデンス・クワルテット

イギリスの貴公子
世界最高峰のテノール歌手、初来静
11/16 木 イアン・ポストリッジ テノール・リサイタル

世界初演作品が目白押し、衝撃の一瞬が見逃せない！
音楽の都ウィーンいま・むかし
12/13 水 アンサンブル・ウィーン・コラージュ

オーケストラを聴こう
12/15 金 トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ
モーツァルトとマーラー

親子のためのコンサート
12/24 日 クリスマス★コンサート

第3期11/11(土)よりチケット発売！ ●会員優先発売 11/4～10

2007 16歳でロンドン・ティボー国際コンクールにて鮮烈デビュー！
1/13 土 シリーズ・若い翼 山田晃子の室内楽
今井信子、原田禎夫、野平一郎

1/21 日 ニューイヤー・オペラ・コンサート 椿姫

驚異の木管アンサンブル
2/10 土 レ・ヴァン・フランセ

ヨーロッパを中心に世界のトップ・オーケストラと
共演を重ねるヴァイオリニスト&ピアニスト
3/9 金 堀米ゆず子&児玉桃
デュオ・コンサート

吉行和子・高橋アキ
3/15 木 音楽と言葉の織りなす物語
サティのスナッフショットとR.シュトラウスのメロドラマ

静岡音楽館倶楽部 会員募集中！

静岡音楽館倶楽部では随時、会員を募集しています。
AOIが主催するコンサートのチケットの優先・10%割引や
特別コンサートへのご招待、などのうれしい特典付き。
(年度会費¥2,000) ※詳しくはホームページをご覧ください。

お問合せ／静岡音楽館倶楽部事務局
TEL.054-251-2200

講座

トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ(12/15)の
コンサートをより楽しむために、
事前にお話を聞いてみませんか。

講演会「子どもの不思議な角笛」

11/22(水) 19:00 講堂：中沢新一(人類学者)
¥500(12/15のコンサートのチケットを
お持ちのかたは無料) 要申込

新刊、「爆笑問題」太田光との対談『憲法九条を
世界遺産に』も好評、日本の思想界をつねにリード
しつづけるカリスマ的存在・中沢新一がAOIに。マ
ーラーの歌曲になったドイツの民話集『子どもの不思議
な角笛』に隠された秘密を鮮やかに解き明かします。

芸術監督、野平一郎の個展が開催されます。

作曲家の個展2006

「野平一郎」サントリー音楽財団コンサート

10/2(月)

18:00 プレコンサート・トーク／19:00 開演

会場：サントリーホール

演奏は企画会議委員、沼尻竜典氏の指揮する東京都
交響楽団、チェロの堤剛氏とAOIにゆかりのある音楽家
達です。

AOIの委嘱作品が出版されます。

間宮芳生：ピアノのための

6つのエチュード

(音楽之友社、2006年秋出版予定)

2005年1月28日に野平一郎のピアノで初演(1-3再演、初
演は2004年3月8日、松山元)されたこの作品は、新旧芸
術監督のバトンタッチに静岡音楽館AOIの委嘱として作
曲されました。

高橋アキの手により
新たな息吹が吹き込まれた
「タンゴ」作品の数々。

ためらいのタンゴ ―タンゴ・コレクション

1890-2005/高橋アキ

Hesitation-Tango Tango Collection

● CMCD-28105

¥2,940(税込)／2006.03.20 発売

高橋アキの透明な響きと柔軟な感受性によって、流行の
タンゴ・イデオムだけではなく、20世紀のさまざまなものを
呑み込み、混血性を生かし、私たちに21世紀のタンゴの
息吹を感じさせてくれます。収録曲、サティル・タンゴ(「ス
ポーツと気晴らし」より)は、2007年3月15日のコンサートで
演奏される曲です。



音楽都市紀行

バイロイト Bayreuth

野平一郎
(作曲家、ピアニスト、
静岡音楽館AOI芸術監督)



ヴァーグナーの秘密の隠れ家。奥に見えるの山の上のお城は、ローエングリンの舞台とも言われている。



ヴァーグナーの音楽を考えると、まず頭に浮かぶのが彼が晩年「祝祭劇場」を建て、自らの楽劇を上演する理想の場所を求めたドイツのバイロイトだ。昨年の夏、キールで上演した私のオペラ《マドルガーダ》の舞台デザインを担当したドイツの有名なデザイナー、ペーター・シュミット氏（バイロイト生まれで、バイロイト市のロゴ制作者）が、私がヴァーグナー好きなのを知って、今年の7月末の、バイロイト音楽祭《ニーベルングの指輪》4部作の新演出上演に招待してくれたのだ。バイロイト音楽祭には世界中から音楽愛好家、そして特に「ヴァグネリアン」と呼ばれるヴァーグナー愛好家たちがやってきて、けんけんがくがく意見を戦わせる。いまだに、ヴァーグナーのオペラ上演のメッカだと言えるだろう。

1876年、今から130年前にこの《指輪》全曲の初演で幕を開けた祝祭劇場のオーケストラ・ピットが、ヴァーグナーの意図によって半分以上覆われていることは有名だ。今回それを初めて聴き、歌とオーケストラのバランスや関係について、ヴァーグナーが考えたことを完全に理解することが出来た。ドイツ中から集まってきた奏者たちの見事なアンサンブルは、決してオペラの伴奏にとどまらず、全くヴォリュームを減じることのない表情豊かなものだが、このピットの構造上、歌手も声を強いることがない。指揮のティーレマンをはじめ、ヴォータン、ブリュンヒルデ、ジークフリート

ドイツ・美しい森の音楽に魅せられて

ートなど主立った歌手陣も素晴らしく、見事な公演となった。

バイロイトには、祝祭劇場が建設される以前の18世紀から、小さいバロック調のオペラ劇場があり、ここでは今回《指輪》の初演時からのバイロイト音楽祭におけるすべての演出や装置などの展示が行われ、これによって時代による演出の推移をつぶさに見ることが出来た。

バイロイトには、当時のヴァーグナーの住居であったヴァンフリート荘があり、現在はヴァーグナー博物館（素晴らしい展示品の数々だ）となっている。ここには、ヴァーグナーと妻コジマの墓があり、1階のホールに当時リストが弾いたとされるピアノが残っていて、当時このリストやヴァーグナーをはじめとして、ハンス=フォン・ビューロー、サン=サーンス、ブルックナーなどが出入りした華やかし頃のサロンを彷彿とさせている。また、この隣にはリスト博物館もあり、リストが死んだ部屋が残されていた。1886年に前夫ビューローと娘コジマの間に生まれた孫の結婚式に出席するために偶然訪れたバイロイトで亡くなったのだ。小振りながら、この博物館の展示も充実している。



「バイロイト音楽祭」

さて、ある日、バイロイトから20〜30キロは離れているだろうか、とある山の中腹にあるヴァーグナーの秘密の隠れ家（彼はしばしばここにこもって作曲した）を、シュミット氏の運転で訪れた。その近くの鬱蒼とした森に囲まれた小径を散策しながら、当時のヴァーグナーも絶対にここを歩いて想を練ったに違いないと思った。《ワルキューレ》や《ジークフリート》にしばしば登場する、あの美しい「森」の音楽を。夢のような素晴らしい1週間は、あっという間に過ぎてしまった。

- ①ヴァーグナーの秘密の隠れ家までの小径。ペーター・シュミット氏と。
- ②祝祭劇場正面。
- ③次の幕が開くために開場した直後の祝祭劇場内部（幕間の1時間は、全員退席が慣例です。）

コンサートの思い出・ご感想などをお寄せください。AOI通信にてご紹介させていただきます。

この秋、AOIのラジオがスタート

静岡音楽館AOIクラシック・ギャラリー

K-MIX (静岡79.2MHz、浜松78.4MHz)
10/1〜12/31 毎週日曜日 17:55〜18:00
コンサートシリーズで演奏される曲を
ちょっとだけご紹介。
コンサートへの愉しみがますますUP。

8Fバーカウンターでワンショット！



AOI主催コンサートでは、会員の方に8Fバーカウンターにてグラスワインをサービスさせて頂いております。ぜひ、サービスチケットをご利用ください。

株式会社 サンタモンコーポレーション

静岡音楽館倶楽部法人会員 (2006年8月末日現在)
かわした歯科クリニック/コカ・コーラ セントラル ジャパン (株) 静岡支店
(株) サンタモンコーポレーション/静岡ガス (株) 音楽部
静岡ターミナルホテル (株)/鍼灸・指圧 六番町ぬちぐすい/ (株) タミヤ
(株) 竹酔/三菱電機 (株) 静岡製作所 (50音順)

わたしたちは静岡音楽館AOI「コンサートシリーズ」を応援しています。

静清信用金庫 TOKAI スター精密株式会社

